

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報には毎號詳細なる商況物價の報告あり

# 時事新報

明治廿八年八月廿七日 (丙午) 火曜日  
舊曆乙未七月八日  
日出版五時十分  
月入金後六時十分  
月入金後七時十分  
月入金後八時十分  
月入金後九時十分  
月入金後十時十分  
月入金後十一時十分  
月入金後十二時十分  
月入金後十三時十分  
月入金後十四時十分  
月入金後十五時十分  
月入金後十六時十分  
月入金後十七時十分  
月入金後十八時十分  
月入金後十九時十分  
月入金後二十時十分  
月入金後二十一時十分  
月入金後二十二時十分  
月入金後二十三時十分  
月入金後二十四時十分  
月入金後二十五時十分  
月入金後二十六時十分  
月入金後二十七時十分  
月入金後二十八時十分  
月入金後二十九時十分  
月入金後三十時十分  
月入金後三十一時十分  
月入金後三十二時十分  
月入金後三十三時十分  
月入金後三十四時十分  
月入金後三十五時十分  
月入金後三十六時十分  
月入金後三十七時十分  
月入金後三十八時十分  
月入金後三十九時十分  
月入金後四十時十分  
月入金後四十一時十分  
月入金後四十二時十分  
月入金後四十三時十分  
月入金後四十四時十分  
月入金後四十五時十分  
月入金後四十六時十分  
月入金後四十七時十分  
月入金後四十八時十分  
月入金後四十九時十分  
月入金後五十時十分  
月入金後五十一時十分  
月入金後五十二時十分  
月入金後五十三時十分  
月入金後五十四時十分  
月入金後五十五時十分  
月入金後五十六時十分  
月入金後五十七時十分  
月入金後五十八時十分  
月入金後五十九時十分  
月入金後六十時十分  
月入金後六十一時十分  
月入金後六十二時十分  
月入金後六十三時十分  
月入金後六十四時十分  
月入金後六十五時十分  
月入金後六十六時十分  
月入金後六十七時十分  
月入金後六十八時十分  
月入金後六十九時十分  
月入金後七十時十分  
月入金後七十一時十分  
月入金後七十二時十分  
月入金後七十三時十分  
月入金後七十四時十分  
月入金後七十五時十分  
月入金後七十六時十分  
月入金後七十七時十分  
月入金後七十八時十分  
月入金後七十九時十分  
月入金後八十時十分  
月入金後八十一時十分  
月入金後八十二時十分  
月入金後八十三時十分  
月入金後八十四時十分  
月入金後八十五時十分  
月入金後八十六時十分  
月入金後八十七時十分  
月入金後八十八時十分  
月入金後八十九時十分  
月入金後九十時十分  
月入金後九十一時十分  
月入金後九十二時十分  
月入金後九十三時十分  
月入金後九十四時十分  
月入金後九十五時十分  
月入金後九十六時十分  
月入金後九十七時十分  
月入金後九十八時十分  
月入金後九十九時十分  
月入金後百時十分

## 時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價は左の如し

## 時事新報定價

- 一 號 貳錢五厘〇一箇月 前金五拾錢〇三箇月 前金壹圓四拾五錢〇六箇月 前金貳圓八拾五錢〇一箇年 前金五圓六拾錢〇月曜日休刊(此他大祭祝日年始年末一切休刊せず)
- 二 日本國內並に朝鮮京城、仁川、釜山、元山、青森、南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加奈陀を経て郵送する歐洲各國 一箇月 金六拾錢
- 三 北米合衆國、英領加奈陀、布哇諸島 一箇月 金三拾錢
- 四 香港を経て郵送する亞細亞諸島、太平洋諸島、露領領事館、清國諸港 一箇月 金六拾五錢
- 五 露領領事館、清國諸港 一箇月 金三拾五錢

時事新報の廣告料は都て定價の通り申受くる者あるも取次人の内には往々定額以下にて引受くる者ある由今後斯る事實を發見する時は直ちに其取次人に對し本社廣告の取次を謝絶する事もあるべき旨に付豫め廣告依頼者諸君に公告す

## 本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を填寫するより各社同一の記事を掲ぐるを以て専ら其獨り時事新報社に社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずとも世間往々此事を知らずして通信社に之を報道すれば本社にも其報道は達する事と信する方多きが如し爲めに進行を止むる場合も亦其取次らされれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直ちに本社に對し發送せらるるものとす

## 時事新報

### 勳功審査

征清の一擧は日本未曾有の大偉業にして前後、力を致したる文武の臣僚は何れも國の爲めに空前の功を建てるものなり左れば其功を論じ賞を行ふに當り非常の恩典を以てす可きは勿論にして此程兩回に舉行せられたる勳功審査の沙汰の如き何人も至當と認めて異議なき所なる可し或は論功行賞は専ら下級のものより先にす可しなごの説もあるよしなれども是れは未開無法律の時代に主權者一人の人心を以て行ひたる筆法にして百事務の手續を要する今日に於ては望む可らざるのみか實際、無數なる將士の功勞を賞するに夫れ一審査の必要ありて一朝夕の間に事了す可き非

## 雜報

○歐洲諸國の自家撞着 泰 港クロナクル 新聞は暗に三國同盟して日本に干渉し其意志を貫徹せしめざりしは自家撞着なりと非難して云く歐洲諸國中 荷も商業を以て國家の富強を増進せんと志すものは皆一様に支那の領土主義を破り港海を外國貿易に開かしめんと汲々たりしに何ぞ計らん折角其機會の到來せし時に當り笑ふに堪へたる猜忌心より年來彼等の所望する所を成 就せんとするの 企を妨げんとは實に近眼者流の愚擧と評せらるるも一言辯解するを得ざる可し即ち日本が連戰連勝の勢に乗じ支那の頑迷無智を懲さんとするを妨げざりしならば美事老國をして全國を擧げて外國貿易に開かしめしならん返すも殘念至極の次第と申す可し或は云はん若し日本の爲すが儘に任じて毫も掣肘する所なからんか左らぬに旭日の東天に上らんとする新強國いよ、勢力を膨脹し支那に對して威威を逞ふし其結果果敢振はざる彼の國の

政綱を未來永劫改良するの期なきに至らしむりしと一應尤もに開かれ是れは全く皮相の見解か然らずんば罪を蔽はん爲めの遁辭にして我輩は支那の國運を日本に委ねたりしならば彼の國民が外人を以て洋夷と呼び慢に自尊自敬に耽りし積弊を打ち破り得るならんと言するを憚らざるなり今其故を語らんに支那人は其特性として利の一點に鋭敏なるは天下に敵なしと云ふ人種なるゆゑ治者の位置に坐する人々にして反對の精神を喚起せんと人民を煽動するもなれば日本の盡力を依て追々文明の利益を玩味し初め終に喜んで歐洲人と親しみ取引を開始し兼ねて内地の富源をも開拓するに至る可し然るを歐洲諸國は爰に心付かずして無用否なき有害なる物害を中出しせしむる此上なき遺憾と云ふべけれ云々

○露國と太平洋 露國人が始めて北太平洋沿岸に現はれてより露國の運動に關し倫敦の或る新聞紙は云く露國人が此太平洋の海岸に在りし時は我々英人よりも長しと世間に餘り知れざる事實なり我々英人が公明正大の貿易を爲す間に露國は常に陰謀を企て、只管國土の擴張を計り支那に困難の起る毎に其弱味に附込みて熊の腹を肥したり千六百三十九年にコッサク兵の一隊は始めて其旗を太平洋の岸に立て其根據を遼北なるオホホツク附近に固めて其處等あたりの地方を砲火と鐵を以て荒涼 慘酷ならしめたりは我國のレッヂンホルの商人が印度貿易の特許を受けし後正に三十九年なりと雖も倫敦行の茶を搭載せし古來第一の船が廣東を抜せし時より以前のみならず印度露國行の茶は皆に支那より積出すもののみならず印度及び錫蘭より積出す數千噸の高に達するものも今尙は英國の船舶に依頼して用を便する程の衰れなる有様なり云々

○大坂市會の紛議 大坂市會は下水工事の不完全なる事を認め實を市參事會員に歸し遂に内務省備付の技師を招聘して實地を検査せしめたるに同氏は檢分の上別に欠點なきと断定したるにより此事は其儘立消の姿とならんとせし市參事會員の攻撃に就ては中々現職あるよしにて一部の議員はバルトンの鑑定に就て尙ほ不安の念を抱き工事の變更は何れかの點より論ずるも當局者越權の處置たるを免れず市參事會員たるもの宜しく責を負ふて總辭職すべしとて信任問題を市會に提出し會議連日に亘りたるも反對議員は多數を占め居る模様ありて未だ決議の場合に至らず遂に去る二十三日に至り一議員の建議により一週間休會する事となりたるよし

## 西洋だぬ五目すし

○製法の サアノレ様様急いで御覽じろ是は左の亞米利加の婦人が工夫を凝せし製法、先年專賣特許を受けんと其筋へ持出せし所、掛りのね役人方の武裝警察なる情なくも奪返したるを以て翻らず秘法の世間に傳はるに至れるなりとぞ先づ其秘法と云ふは類又は隠の邊に小なる一點を定め之に無色透明の樹脂様のゾーニに膠を交へたるを塗着け給筆或はペン軸の先にて其中央を肉の凹むまで押へ彼の膠まじりのゾーニの乾きて堅くならんとするまで其儘に爲し置き靜に振取りて其上を白粉にてゴマカせば則ち宛然たる人造麩の出來るなりとは何ぞ旨い工夫ならずや但しウツカリ笑ふと顔に曇たけの入る災難あり慎む可し

